

1. アファン震災復興プロジェクト

「東日本大震災で、失われた自然・傷ついた子供たちの心」を取りもどす。
アファンの森財団の活動を紹介します。

事業主体：一般財団法人C.W.ニコル・アファンの森財団
協 賛：東松島市

事業主旨

震災当初の鳴瀬第二中学校の現状です。このような悲惨な状況を経験してしまった子供たちの「心の復興」を目指し、市と一般財団法人 C.W.ニコル・アファンの森財団が協定を締結し当市におけるアファンの森事業が始まりました。



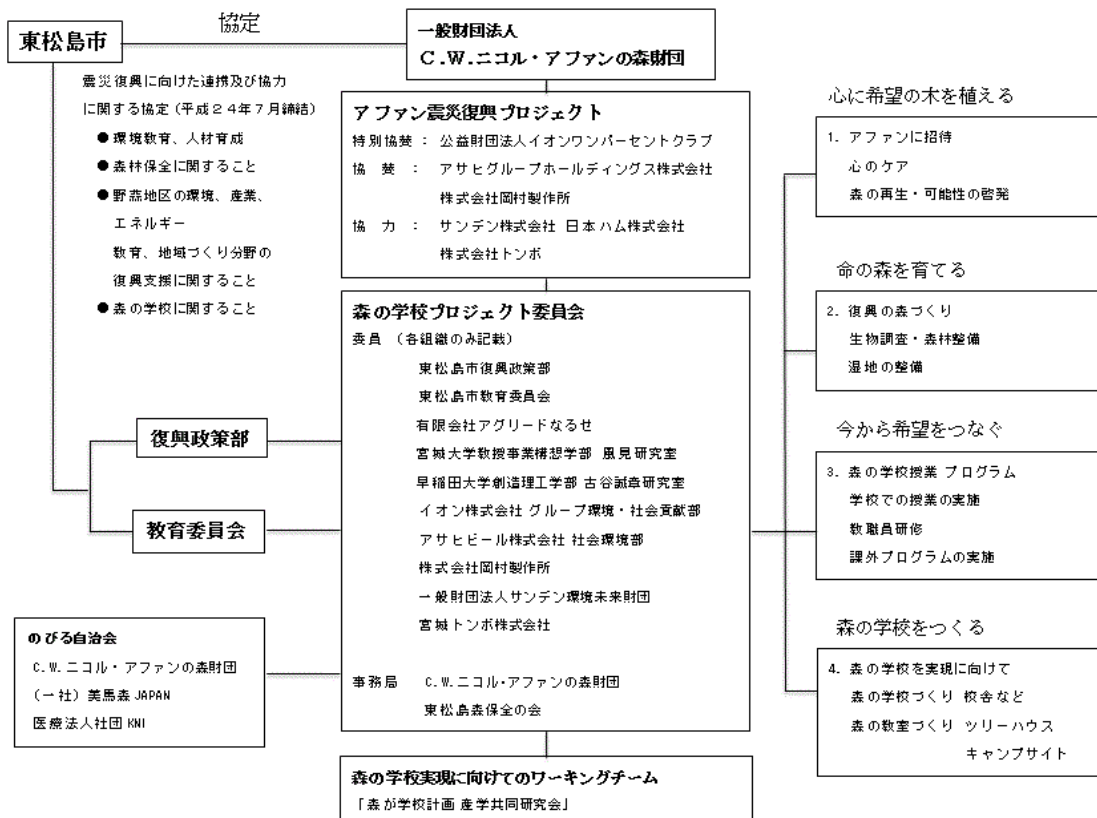
子ども達の目に焼きついた瓦礫

・・・【鳴瀬第二中学校】

事業概要

東松島市では、震災で失われた自然、傷ついた子供たちの心の復興を目指して、平成24年7月に一般財団法人C.W.ニコル・アファンの森財団（理事長C.W.ニコル）と協定を締結し、「森の再生」と「心の再生」の2つの視点でアファンの森震災復興プロジェクトがスタートしました。

アファンの森 震災復興プロジェクト東松島「森の学校プロジェクト」体制



プロジェクト内容について

1. 心に希望の木を植える

事業主旨

震災から約4年たった今でも、より一層大人も子供も心の傷が深まりつつあります。大きな自然災害で傷ついた心を癒してくれるのは自然です。

豊かな森が持つ森の癒し（心のケア）を提供すること、そして森は蘇ることを伝え森づくりと森の学校づくりへの原動力を育てます。

「蘇ったアファンの森を知る」森の学校づくりの原点です。

・東松島市の家族をアファンの森に

5センスプロジェクト事業・・・

人の手によって再生したアファンの森での自然体験を通して心と体を解放し、癒していただくことを意図し平成23年より実施しています。

長野県黒姫にあるアファンの森へ被災した地域の方々を招待
(平成25年までに9回実施 のべ185名参加)

・ニコル出前授業

東松島市の高台移転の森の学校の完成には長い年月がかかります。その間に、予定地の土台となる自然環境の利点を最大限に活かす為の調査や森の再生が必要となります。住民となる地域の子どもや大人に「新たなふる里の森づくり」へ参加してもらうことは、自然に対する意識を高め、その土地への愛情を生み、ふる里意識を醸成していくと信じています。

森づくり参加への第一歩として、C.W.ニコルの授業を市内の小学校で行いました。



2. 森の学校プロジェクト

○東松島市森の学校プロジェクト委員会発足

【事業主旨】

物理的に失ったものは教育で取り戻す。だから、**日本一の森の学校**を創る。

東松島市では、市内の小中学校14校のうち8校が津波による浸水、特に3校は壊滅的な被害に遭い、新しく学校を再建しなければならない状況です。

この教訓をこれからの未来にどう活かすか…。私達は、まずアファンの森づくりで行っている「自然に聞く」こと=環境調査からはじめました。

すると、この地域のここにしかない森の特性や川や海に加え田圃や畑など、素晴らしい地域であることが見えてきました。この地域の自然を最大限活かした今までにない学校をつくる、そんな思いから、「森の学校プロジェクト委員会」が平成24年からスタートしました。

復興の森 森の教室プラン

森の学校コンセプト

自然環境を人間の本質的な人格形成に必要な不可欠なものとして位置づけ、地域本来の自然生態系の中で子どもを育む環境を整えることを目指します。

五感を育み、創造力豊かな心と、助け合う精神、そして不測の事態でも的確な判断と行動ができる“生きる力”を育む学校です。



3. 平成26年度アファンの森 震災復興プロジェクト

「心に木を植える」～被災地のご家族をアファンの森へ～

市内の子どもたち、ご家族をアファンの森に招待しました。

人の手で森が甦ることを肌身で感じてもらい、自分たちの住む地元の自然環境を良くしていこうとする心を育むことを意図しました。

アファンの森で自然体験活動を実施。

第1回：平成26年7月26日（土）～28日（月） 参加者35人

第2回：平成26年11月1日（土）～3日（月） 参加者29人



【森で深呼吸】



【森の整備作業のお手伝い】

・「復興のための森づくり」

東松島市の森の学校づくりに向けて、地域の森の生態系を回復するべく“復興のための森づくり”を平成24年（2012年）より開始しました。新設される宮野森小学校に隣接する森を「復興の森」と名付け地域の方とともに手入れ作業をおこない、地域との連携による森づくりから、地域の学校づくりについて皆さんと考えていきます。

・うまのひづめ展望デッキ制作

復興の森の海が見渡せる眺めが良い高台に展望デッキを制作しました。



【うまのひづめ展望デッキ】



【デッキからの眺め】

・復興のための森づくり ワークショップ

地域全体を生物多様性豊かな自然へと再生するため、地域の皆さん、企業ボランティアの皆さんと森づくりワークショップを実施しました。

復興の森の整備、宮戸の海の清掃、ツリーハウスのメンテナンスを実施しました。

(計6回実施)



【薪づくり】



【ツリーハウス集合写真】

・「森の学校プログラム」

森と海の恵まれた環境を活かし復興の森での森づくりプログラムや海のプログラムを実施し、森と海のつながりへの理解を深めます。

また、統合する野蒜小学校、宮戸小学校の2校で森の学校の出前授業を実施します。

・森と海の学校（コスモ石油エコカード基金の助成を受けて実施）

東松島の豊かな自然（野蒜の森や宮戸の海）で森と海のつながりを学ぶ自然体験活動を実施しました。生きもの観察や、森を整備、野外調理やドラム缶風呂を実施し、五感すべてを使って子どもたちの生きる力を育みました。

【実施日】平成26年6月21日（土）、22日（日） 参加者のべ46人



【森の整備作業】



【ドラム缶風呂】

・野蒜小学校、宮戸小学校への出前授業

統合する野蒜小学校、宮戸小学校の生徒を対象に森の学校授業、生きものを通して身近な環境を考える森の授業を実施しました。

対象：野蒜小学校、宮戸小学校 3～6年生



【田んぼの生きもの観察】



【森の説明】



【苗植え付け】

アフアンの森震災復興プロジェクト

特別協賛：公益財団法人イオンワンパーセントクラブ

協賛：アサヒビールホールディングス株式会社、株式会社岡村製作所

協力：サンデン株式会社、株式会社トンボ、日本ハム株式会社、

日本メープルリーフフーズ株式会社、株式会社フルタパン

写真提供：管洋介、森本コナン、アフアンの森財団